

事業所名		公表日 2024 年 12 月 1 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		目的別に使用できる部屋が5室あり、適切に受け入れることができています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		利用人数に応じて職員数を調整しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	目的別に部屋を設定しており、手すりを設置して配慮しているが、玄関に段差がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々、掃除、消毒を行い清潔に保っています。 一人一人がゆったり過ごせるスペースを用意し、好きな場所で心地よく過ごせるようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		一人一人の状態に合わせて個別に使えるスペースを用意しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		会議や毎日の打ち合わせの際に、職員間で意見を出し合いその都度改善していくようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の意見を尊重し改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議等で意見を出し合い、改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価を受審していません。	今後、外部評価機関等の外部評価の受審体制が整えば検討したいと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		常勤・非常勤職員も研修を受講しています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		事業所内に掲示、インターネットで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者のニーズも取り入れながら、利用児の課題を客観的に分析しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子供の最善の利益を考慮して検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		日々の打ち合わせや会議等において職員間で共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		こどもの適応行動の状態をアセスメントツールを使用して確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「放課後等デイサービスの提供すべき支援」のこどもの支援に必要な項目を設定し、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で意見を出し合い、活動プログラムを検討、実施しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員間で意見を出し合い、活動プログラムを検討、実施し、振り返りをおこなっています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用児の特性や状況を踏まえ、個別活動と集団活動を組み合わせ実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼にて、活動内容や利用児の特性に応じた対応等を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		夕方は、打ち合わせの時間をとることは難しいため、翌朝の朝礼や会議で気付きを共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々、記録をつけて、支援につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度、確認を行い、会議で見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		おやつ作りや公園遊び、制作活動等利用児童が楽しみながら活動できるよう工夫しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		利用児童の意思を尊重し、選択しやすいように選択肢の内容を工夫し、自己決定をする力を育てています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		事前に利用児童の状況を職員間で共有し、児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談事業所等も含め、情報共有を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		支援学校との連絡会に出席し確認を行っています。保護者からの連絡を基本としながらも、学校と連絡を取り合っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談事業所を通し、情報共有を行っています。入学前に見学に行かせていただくこともあります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談事業所を通し、情報共有を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		日程や時間が合うものについては、積極的に研修を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		コロナ感染予防のため、イベントの地域開放を休止していたが、今年は開放予定です。日々の公園遊びの中で、地域の児童たちとの自然な交流を大切にしています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		こども部会や研修に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎の際に様子を伝え情報共有しています。学校休業日には連絡帳でのやり取り、日常は口頭やラインで連絡しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	必要に応じて助言するようにしています。	研修受講等で専門性を高め、より良い助言ができるよう努めていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っています。その他、問い合わせがあった時にはていねいに説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		利用児童や保護者の意思の尊重を子供の最善の利益を優先するよう、意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援内容の説明を行い、同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があった時には、必要な助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会・兄弟会は開催していません。	保護者からの要望があれば、検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決の指針及び苦情受付担当者を決め、迅速かつ適切に対応できる体制を整えています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月「風の子便り」を発行し利用児童、保護者にお知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人の「個人情報保護規定」に基づき、取り扱いには十分注意しています。 ケース記録等は、鍵付きのロッカーに保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カード、写真カード、文字カードを用いたり、具体物を示して理解を促し、安心して過ごせるように努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		コロナ感染拡大防止のため、昨年までは、地域の方の参加できる参加できるイベントを縮小して実施されました。今年から少しずつ開放に向けて実施していきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定し、事業所内に掲示し、周知を図っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月状況を設定し、避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認しています。 その後の変更の際は、その都度伝えていただいています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に保護者からアレルギーの医師からの禁忌を確認をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		職員にもわかりやすく情報を共有いたします。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		職員にもわかりやすく情報を共有いたします。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎月の職員会議で、ヒヤリハットの共有と再発防止について検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部講師による虐待防止研修に参加しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		職員に対し、内容周知のための研修を行っています。	十分な検討と、ていねいな説明を行うとともに、身体拘束の適正化に努めます。